



1\_ 勢いよくカメリーナをスタートする男子1区の選手たち 2\_ 女子2区で力走を見せる安積高校1年の小坂橋梨音選手 3\_ 男子4区・会津学鳳高校1年の小椋神威選手

## 高校生ランナーが力走

### 県高校駅伝競走大会開催

男子第63回、女子第36回県高等学校駅伝競走大会は10月25日、本町で開かれ、カメリーナをスタート・フィニッシュとする男子7区間42.195㌾、女子5区間21.0975㌾で争われました。大会には男子38校36チーム、女子32校28チームが出場。男子は学法石川高校が2時間9分31秒で8年連続10度目の優勝。女子は学法石川高校が1時間15分49秒で3年連続5度目の優勝を果たしました。学法石川高校は、男女とも1区から一度も首位を譲らず、全区間で区間賞を記録する完全優勝。12月に京都府で開かれる全国大会の出場を決めました。また、男女の上位5校は11月に岩手県で開かれる東北大会の出場権を得ました。

大会には、今年も猪苗代高校や町内中学校出身の選手が出場しました。猪苗代高校は、陸上同好会やスキー部などの生徒による特設チームを編成して大会に出場。男子が34位、女子は22位という結果となりました。(※オープン参加のチームを除いた順位)

懸命の走りを見せる選手の姿に、応援に駆け付けた多くの町民や観客から盛んな声援が送られました。

## MTB大会 本町で初開催

### サイクルエイドジャパン 2018 in 猪苗代

サイクリングを通じて本県の復興を支援する「サイクルエイドジャパン 2018 in 猪苗代 MTB RIDE 磐梯山」は10月14日、猪苗代リゾートスキー場で初めて開かれ、県内外から約200人が参加しました。町や自転車協会、ジングスカップ実行委員会、猪苗代リゾートスキー場、福島民報社などでつくる実行委員会の主催。ゲレンデの起伏を生かした特設コースで年齢や人数別の11部門で争われたほか、プロライダーによる初心者向けの講習会や町内の名所を巡るツーリングなどを繰り広げました。

2時間耐久レースソロ部門では、唯一17周を記録した角屋晃孝選手(山形県)が初代王者に。1周ごとに親子が交代で走る親子リレー部門では、進藤亘・慶親子(会津若松市)が優勝しました。

会場内のステージでは、猪苗代芸能保存会による和太鼓の演奏やD-BROTHERSによるヒップホップダンスなどが披露されました。また、町食生活改善推進員の皆さんが豚汁を振る舞い、町民らが温かいおもてなしで選手にエールを送りました。



1\_ 周回コースをスタートする選手 2\_ 磐梯山と猪苗代湖が広がるロケーションの中、フラダンスを披露するフラパネキのメンバー 3\_ 選手らに豚汁を振る舞う町食生活改善推進員の皆さん



天神浜に漂着した水草を回収する東中の生徒ら

## Pick Up

### 今月のイベント

## 東中と猪苗代ライオンズクラブが環境保全活動



東中学校の全校生徒69人と猪苗代ライオンズクラブの会員15人は10月5日、猪苗代湖の天神浜で湖岸に漂着した水草の回収作業を行いました。回収作業には、猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表が協力しました。東中学校と猪苗代ライオンズクラブでは、腐敗すると水質汚濁の原因となる水草を回収し、水環境の改善を図るため、平成23年からこの活動を行っています。

生徒たちは、ライオンズクラブ会員から指導を受けながら、フォークなどを使って水草を熱心に回収しました。

猪苗代ライオンズクラブの酒井利美会長は「生徒たちと協力して猪苗代湖をきれいにするとともに、回収した水草を堆肥にして、町内の花壇などで利活用していきたいです」と話しました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Nov.2018  
11  
No.697

### 今月の表紙



【撮影日】 9月15日  
【撮影場所】 中ノ沢体育館

9月から10月にかけて、町内の各こども園、保育所で運動会が開かれました。写真は中の沢保育園の齋藤柚花ちゃんです。音楽に合わせて元気にダンスを披露しました。(関連4～5ページ)

## Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 県高校駅伝大会／サイクルエイドジャパン 2018
- 04 【写真特集】こども園・保育所運動会
- 06 野口英世博士顕彰記念小中学校音楽祭
- 08 31年度児童・園児募集
- 10 平成30年度上半期財政状況
- 12 まちのわだい
- 14 笑顔でこんにちは／スクールトップピックス
- 16 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー